

これまでの学び



- 大小様々な規模の学校の自立
- 知識・スキルの伝達
- 独立した教室空間
- リアルで固定化した関係
- 教師と子ども

共同研究開発



これからの学び

- 規模の異なる学校の協働
- 公共的課題の対話
- 越境する教室空間
- デジタルによる柔軟な結合
- 多様な市民の包摂

Society5.0
の公教育

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) 第3期課題

「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」

デジタル・シティズンシップ・シティ：公共的対話のための学校

1. カリキュラムの開発

- デジタルを媒介にして①他者に考えを伝達し、②他者と意見を調整し、③他者としくみを構想し、④他者の提案を批評できるシティズンシップを育てます
- シティズンシップを育成するために、地域の公共的課題を取り上げ、対話します。そのための社会科&総合的学習の授業と教員研修プログラムをつくります

2. 社会基盤の開発

- デジタルを媒介にしてシティズンシップを育成する授業を保護者や市民に開きます
- 学校を拠点にして、地域の公共的課題について大人と子どもがともに学び、対話することのできるシティをつくります

3. AI学習支援技術の開発

- 離れた学校・離れた教室の意見を自動で収集・分類し、結果を学習者にフィードバックするAIプログラムと装置を開発します。複数言語にも対応します
- AIが、学習者の意思決定や政策提言を支援するデータを提供します

URL:<https://sip-dcc.hiroshima-u.ac.jp/>

